



令和7年度 園芸文化賞 受賞者決定

「令和7年度園芸文化賞」の受賞者が決まりました。

◆「園芸文化賞」とは◆

「園芸文化賞」「園芸文化特別賞」は、わが国の園芸文化の発展向上に貢献された個人および団体の功績を讃え、永く伝えていくことを目的に、1977（昭和52）年に創設されました。その後「ガーデンライフ」の初代編集長である小松崎英男氏からの基金と遺志にもとづき、すぐれた著作物を発表された個人および団体に対し表彰する「小松崎賞（現小松崎園芸文化賞）」も創設されました。これまでに各賞あわせて149名・1団体・4作品が受賞しております。

● 金澤 美浩（かなざわ よしひろ）

有限会社矢祭園芸 代表取締役

園芸が定着していなかった地で花を育て、地域農業を活性化したほか、多品目の生産と育種を行い、メディアを通じて一般に広めた。また多くの研修生を輩出し後進育成にも尽力され、園芸文化の向上と発展に大きく寄与した。



● 西口 郁夫（にしぐち いくお）

植木鉢収集家 元三重県職員

西口 孝子（にしぐち たかこ）

植木鉢収集家 元四日市市職員

江戸時代から明治時代に日本各地で作られた植木鉢の収集、およびその来歴調査を行い、それらを冊子にまとめて発表するなど、園芸文化の研究、保存において顕著な功績を残され、園芸文化の向上と発展に大きく寄与した。



● ジャパンフラワーセレクション 実行協議会

日本における花き業界初の全国規模の新品種コンテストとして2006年にスタートし、新品種の普及および育種の振興、育種家の地位向上に寄与した。また「フラワー・オブ・ザ・イヤー」ほか受賞作品の情報を一般消費者に向けて発信し、育成者や種苗メーカーとユーザーをつなぐなど園芸文化の向上と発展に貢献した。



* 園芸文化協会のボランティア活動

シンボルプロムナード公園内 情熱のローズガーデン

理事 杉井志織

《3月8日》

花壇の作業はお休み。この時期、春バラのためにどんな管理をしているのかを学びに、横浜イングリッシュガーデンに行きました。見学だけのつもりだったのですが、同園スーパーバイザーの河合伸志さんが案内してくれました。現場の話が聞けて一同感激でした。



《4月12日》

ボランティアも4年目に突入です。新たに3名が加わりました。「手入れしやすい花壇は、手入れが行き届くから花がキレイに咲き、美しさをキープできる。」を一緒に実践していく1年の始まりです。

午後はオリエンテーションを行いました。「情熱のローズガーデン」の毎月の作業と植栽デザインについてくわし

く解説しました。

《5月10日》

雨天のため作業は中止となりましたが、初夏に向けての改植と食香バラの花がら摘みをしました。



「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお出かけください。

晴海ふ頭公園 五輪植栽の花壇

理事 杉井志織

《4月26日》

今年度から、晴海ふ頭公園内の「五輪植栽の花壇」のボランティア運営を園芸文化協会が引き継ぐことになりました。この花壇は、五輪マークを5色の花で表現しています。5色を1年中キープさせるためには、花選びと管理が重要です。5月の植え替え時まで、冬春植物を維持するため、咲き終わり

の花を摘み取る作業をしました。月1回の作業を楽しんでいただければと思っています。

晴海ふ頭公園「五輪植栽の花壇」へは、東京駅や有楽町駅など主要駅を発着する都営交通や都バス、都心と臨海地域を結ぶBRTなどが便利です。近くに見



晴らしいよいカフェもあります。ぜひお出かけください。



新宿御苑・丸花壇

常務理事 奥 峰子

春爛漫の花壇が急な気温上昇でチューリップも早々に終わってしまいましたのでゴールデンウィークに向けて急いで植え替えをしました。この春は気温差が激しくてそれについて行かないのがキンギョソウだったように思います。急に寒くなると蕾が固まってしまって本来ならチューリップを引



き立てる華やかさをもっているはずが今一つ頼りない感じになってしまいました。もう 20 年以上都内で花壇を作っていますが、キンギョソウが今一つだったのは今年が初めてでした。



とはいうものの、今年度新しく花壇ボランティアに参加してくださる方が

5名もいらしてくださり、新宿御苑の花壇の活動もより一層楽しくなってきました。

4月28日には5月に咲くバラに合わせて白のオルラヤ、ピンクやブルーを中心としたパステルカラーのペチュニア、そして花壇に楽しいリズムを与えてくれるバニーテールを組み合わせで植え替えました。6月の最終日には夏花壇に模様替えしますが、秋のイチヨウの黄葉に合わせた色合いに変身します。

荒川区立宮前公園

常務理事 奥 峰子

宮前公園の春は 13 品種のサクラと華やかな一年草花壇が多くの人目を引きます。そしてもちろんバラの季節にはたくさんの方がバラとグラスや宿根草の競演を満喫します。宮前公園ではできるだけ 1 年草を使わない方針ですが管理棟前の四角い花壇は季節を象徴する花々で彩ることにしています。

5月8日にはサポーター(ボランティア)の方々と共に、春の花壇から夏の花壇へと衣替えをいたしました。サポーターの方々はバラの季節には花がら切りも手早く手伝っていただくので四季



咲き性のバラが多い宮前公園のバラは何度も返り咲いて長い間多くの来園者を楽しませてくれています。バラの咲き始めはジャーマンアイリスとのコンビネーションが見どころですが、そのあとはガウラ、ヘメロカリス、アメリカアジサイアナベル、数々のオーナメンタルグラスがバラを引き立てます。夏にはカンナ、トリトマの品種コレクションが見ごろとなります。只今会員の 15 名の方が年間約 70 回、サポーターとしてお手伝いしてくださり、開園 4 年目を迎えた宮前公園はますますパワーアップしていく予定です。



【江戸の園芸で遊ぶ】@名古屋園芸

日にち：4月20日（日）

会 場：名古屋園芸3階教室

講 師：常務理事 小笠原誓

【江戸の園芸で遊ぶ】は20年近く名古屋園芸で開催されている大人気セミナーです。このたび園芸文化協会のために特別開催いただけることになりました。講師の小笠原誓さんのお父上で、元会長の小笠原左衛門尉亮軒さんが70年間収集された江戸時代の和本、刷り物、浮世絵、絵巻物、図譜など国会図書館や博物館に行かなくては見られないようなものの中から、今回は「江戸の春」にちなんだものを公開してい



ただきました。しかも博物館と違い、実際に手に取ってご覧いただくことが出来るのです。こんなこと、他では絶対できません。

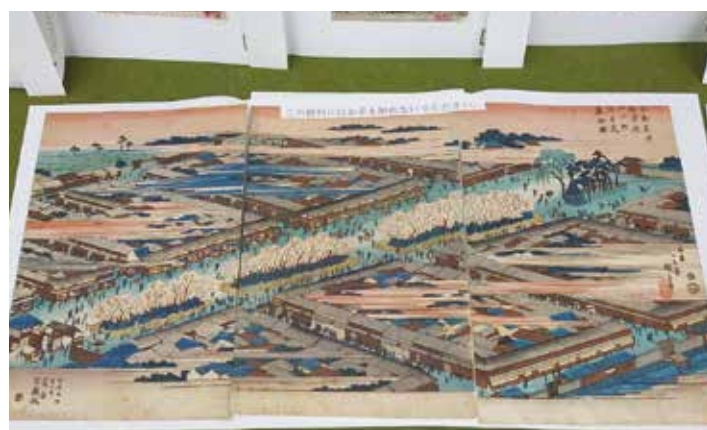
まずはじめに、資料の筆者や描かれた植物などについて詳しく解説いただき、そのあと各自自由に実物をご覧いただきました。昔も今も「春」と言えば「桜」。桜を描いた図譜や絵巻はどれも圧巻でした。また、NHK 大河ドラマ「べらぼう」の舞台、吉原の春を描いた有名な浮世絵「東都名所 新吉原五丁目 弥生花盛 全図」の実物を間近で見られ一同大興奮！ 連動企画の「べらぼうな花たち」にご出演中の小笠

原誓さん、番組にも登場の蔦屋重三郎の処女作「一目千本」の現物も特別に見せていただきました。

「（桜の）普賢象、昔は名前が違ったんですね」「どうやって保存されているのですか？」「貴重な文献に触れることができて感動しました」などなど皆さん歴史と文化に浸り、ステキなひとときを過ごせたのではないのでしょうか。

「【江戸の園芸で遊ぶ】@名古屋園芸」は5月からは連続講座として毎月開催します。参加者募集中です。詳しくはP7 または別紙チラシ、協会ホームページをご覧ください。

（丹羽）



連載

育てるだけが園芸じゃない

園芸道具を識る



① ジョウロ

副会長 柴田 貢

柴田園芸刃物株式会社は、今からおよそ 120 年前、祖父である柴田眞左衛門が創業しました。創業のきっかけは、当時園芸道具は輸入に頼っていたのですが、国内の園芸家や庭師の要望を受け、園芸道具を国内で製造したことでした。以来、植物と人と社会に安心・安全に使える園芸道具を提供することに努めております。

柴田 貢（しばた みつぐ）

柴田園芸刃物株式会社 取締役会長。
社業の傍ら、業界団体の役員も務め、長年にわたり主に家庭園芸の普及に尽力。国土交通省大臣表彰（2008年）、黄綬褒章（2016年）を受章

「ジョウロ」の語源と伝来

ジョウロは古くから日本で使われている散水道具の一つです。「ジョウロ」とカタカナで書かれていますが、本当は「如雨露」と漢字で書きます。「雨露のように植物に水をかける」道具、という意味で、現在、盆栽用のジョウロにこの「如雨露」の文字が使われています。明治時代に輸入されたジョウロには「ウォーターリングカン」と表記されていましたが、日本で使われていた「ジョウロ」が一般名になっています。ちなみに当時輸入された「ウォーターリングカン」は 2 種類の形があり、ひとつは「ミルクカン」を改造したタイプ、もうひとつは長い筒を持つ繊細に水をまくタイプに分かれていました。「ミルクカン」タイプはあまり普及しませんでした。当時の如雨露職人の手で繊細に水が出るタイプが作られ、「英国型ジョウロ」として販売され、現在に至っています。

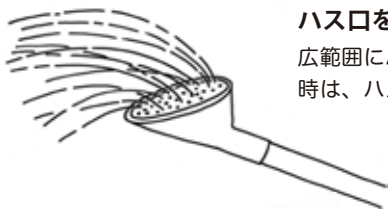


上写真は盆栽如雨露です。昭和 9 年には、天皇陛下にもご献上させていただきました。銅板を金切りバサミで金型に合わせて切り、たたいて成型した後、ハンダで溶接しています。硫酸銅溶液を煮詰め、独特のアメ色を出し、緑青（銅が酸化して出る錆）を防いで

います。また、吐水口（ハス口）もジョウロと同じ製法で作られています。穴はすべて手作業で開けられています。この細かい穴とある程度の勢いのある水流を作る長い筒により、播種したばかりの土にも繊細に水をまくことが出来ます。

使い方のポイント

ハス口の向きにより水の出方が変わります。使い分けましょう。



ハス口を上向きに

広範囲にふんわりと水やりをしたい時は、ハス口を上に向ける



ハス口を下向きに

勢いよく集中的に水をやりたい時は、ハス口を上に向ける



ハス口をはずして

株元に水をやる時は、ハス口を外す

プロの小わざ

① 使い古しの軍手の指の部分を持ち、ジョウロの先につけると、水流がまろやかになります。

② 水を入れたジョウロを運ぶとき、水の出る側を後ろにして持ちましょう。たったこれだけのことで、

運んでいる最

中に水が出てしまうのを防ぐことが出来ます。水を入れたジョウロを運ぶとき、水の出る側を後ろにして持ちましょう。たったこれだけのことで、運んでいる最中に水が出てしまうのを防ぐことが出来ます。



今号のひと

理事 まえだ さとる
前田 悟さん



昨年6月に就任した前田悟理事を紹介します。椿の生産、販売を行う前田ナーセリーや農資材等の製造販売を行う(株)サンスイを営む傍ら、名古屋椿協会会長、一般社団法人屋内緑化推進協会会長、日本アジサイ協会会長、NPO 法人ガーデンを考える会副会長など数多くの団体の要職にも就かれ、日々園芸業界の発展に尽力されています。その手腕と人脈を協会運営でも大いに発揮いただいております。

好きな植物は？ ツバキと最近はアジサイです

座右の銘はありますか？ 百姓とできものは大きくなると潰れる

幸せを感じるのとはどんな時？ 早朝、農場で灌水

しながら清々しい空気を吸い季節を感じる時間

最近感動したことは？ ベトナムで赤花のゴールドニアを見た時

尊敬する人は？ 祖母と親父

休日の過ごし方は？ 午前中は園芸仲間と喫茶店で業界の情報交換、午後はフリー

宝くじに当たったら？ 特別に欲しいものがないのでとりあえず貯金

皆さんへのメッセージをお願いします

幼少の頃より花が好きで、中学生で出会ったツバキに魅せられて60年以上になります。自然が生んだ丈夫さと日本の文化に根付いた花木や花姿に心惹かれております。近年でも四季咲きや多様な花色の原種も発見され、ツバキの新たな可能性を感じています。新しい品種を追い求める情熱は尽きることがありません。また、全国の愛好家の皆様との交流はかけがえのない学びと喜びです。この経験を活かし、園芸文化協会の発展に貢献できればと思っております。

朝顔師 成田屋三部作の第一集

「三都一朝」

成田屋留次郎刊 田崎草雲画

嘉永七年

隠居 小笠原左衛門尉亮軒

<https://nagoyaengei.co.jp/> より

文化文政期に大流行を見たアサガオは、その後天保期になりやや下火となり、出版物など残された資料は少ない。しかし嘉永安政になると再びブームが訪れてその数を増す。

今回紹介する「三都一朝」は、幸良弼撰、田崎草雲画、上中下三冊、木版多色刷、嘉永七年、成田屋留次郎によって刊行された。上巻に蓬庵なる人の和文序があり、図は上巻二八種、中巻三〇種、下巻二八種、全八六種である。

しかしながら、下巻末には、「朝顔の世に行はる己に久し。千花万花輪愈出て愈奇。盡く枚挙する追あらず也。今其絶品の者百種を頷て合て一卷と為す。以て同好の者の一葉に供すと云。江戸成田屋留次郎誌す。」(原文漢文、読下し筆者)とある。版により図の数が大きく異なっている。朝顔研究家 渡辺好



孝氏によれば、「本書は版を異にするもの、丁数の不揃いのもが多く、はなはだ錯雑をきわめいている」としておられるので、雑花園文庫本が、たまたま丁数が不足しているとも考えられる。

さて題名の三都とは京都、大阪、江戸を指し、それぞれの地域で作出された名花奇花を編集したものであるが、多くは江戸市中又は近郊が多く、京大阪は極少数に止まる。

版元の成田屋留次郎は、江戸下谷坂本入谷に任し、アサガオ中興の祖ともいわれ、後、「両地秋」一冊、「都鄙秋興」三冊 同形版による三部作を世に残している。一方彼は熱心な市川團十郎のファンであり、團十郎と同じ屋号を名乗り、團十郎の色とされている柿色の大輪アサガオを作出し、「團十郎朝顔」と名付けて世に広めたとも伝えられる。



「GREEN×EXPO2027 全国連携プログラム」に承認されました

2027 年に横浜で開催される国際園芸博覧会の機運醸成と「花と緑のあふれる暮らしの実現」など博覧会が掲げる目標に合致する当協会の活動の一部が「GREEN×EXPO2027 全国連携プログラム」として承認されました。承認された活動には右上の公式ロゴマークがついています。

花壇ボランティアを募集しています

当協会が管理運営する花壇ボランティアでは参加者を募集しています。お申込み、お問合せは事務局まで。

- ・荒川区立宮前公園
- ・晴海ふ頭公園「五輪植栽の花壇」

『創立 80 周年記念寄稿集』を進呈いたします

『創立 80 周年記念寄稿集』を追加でご希望の方は事務局まで部数をお知らせください。送料のみご負担をお願いいたします。

理事会実施報告

理事会で以下を可決しました。

- 3月12日（水）
令和7年度事業計画、同収支予算
「令和7年度園芸文化賞」表彰者の決定
- 5月9日（金）
令和6年度事業報告、同収支決算
「慶弔規程」の改訂ほか
その他、今後のセミナー、ホームページのコンテンツ充実案などについて議論がなされました。

セミナー実施報告

- 4月20日（日）
江戸の園芸で遊ぶ@名古屋園芸 講師：小笠原誓（常務理事）
参加：6名

セミナー実施予定

参加者募集中です。詳細は別紙案内またはホームページをご覧ください。

- 江戸の園芸で遊ぶ@名古屋 令和7年度上期（5回連続）
日時：5月18日、6月29日、7月20日、8月24日、9月21日 いずれも日曜日 10:30～12:00
講師：小笠原誓（常務理事） 会場：名古屋園芸3階教室 参加費：個人会員 11,000円 一般 16,500円（他テキスト代 1,100円）
定員（各回）：20名
- 緑と水の市民カレッジ「みんなの緑学」令和7年度前期
*今期より個人会員は参加費が割引となります。
(1) 酷暑も花をあきらめない！スペシャリストから学ぶ酷暑を乗り切るコツとテクニック（全3回）
②6月27日（金）
こだわりの極意：有島流見た目にもこだわった暑さから鉢植えを守る極意と管理のコツ 講師：有島薫（ローズライフアドバイザー）

③7月25日（金）

植物を守る：葉焼けや病害虫から植物を守る効果的な方法 講師：牛迫正秀（住友化学園芸(株)） 時間：13:30～15:30 会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園） 参加費（各回）：一般 2,000円（個人会員 1,600円） 定員（各回）：50名

(2) 8月30日（土）

花はなぜ美しいのか～美しさと魅力の秘密をひも解く～ 講師：川崎景介（理事） 時間：10:30～12:45 会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園） 参加費：一般 2,000円（個人会員 1,600円） 定員：50名

●ガーデンボランティアのための講習会 2025-2026（全4回）

(2) 8月9日（土）

夏もあきらめない花壇づくり 講師：杉井志織（理事）

(3) 9月13日（土）

プロに学ぶダリアの魅力と育て方 講師：山口まり（園芸研究家）

(4) 1月10日（土）

プロに学ぶパンジー・ビオラの魅力と育て方 講師：笈川勝之（理事）

会場：青海フロンティアビル（東京港埠頭(株)内） 参加費（各回）：一般 2,500円（個人会員、ボランティア：2,000円） 定員：30名

●9月24日（水）または25日（木）開催予定

「フラワートライアルジャパン 2025 秋」日帰りバスツアー

詳細は決まり次第ご案内いたします。

●11月15日（土）開催予定

新宿御苑菊花壇展覧会 2025

詳細は決まり次第ご案内いたします。

《編集》編集委員会：南場浩一 奥峰子 御巫由紀 丹羽理恵

DTP：清野典子

編集長の独り言

勤め先近くの住宅と道路の境にスミレが咲いていました。周りを見てみるとさらに株が見つかり、何年も歩いていながら気がつかず、こんなにスミレがあるのか、と驚きました。調べてみると、こうした街中のスミレは珍しくはなく、よくあることだそうです。スミレがどの様にしてここにたどり着いたのかはわかりませんが、園芸に興味がない人は気にも留めないの、花を咲かせても



抜かれることはなく株を増やしていったのでしょうか。ここがどこかは内緒にして、ひっそり咲くスミレを静かに見守ることにします。

南場浩一

YOUTUBEチャンネル好評配信中

切り花新品種紹介 ガーデニング




INNOVATE FOR BEAUTY & TASTE



ミヨシグループ
MIYOSHI GROUP

みらいのイチゴ
ベリーポップ



サカタのタネ

両方のよさを“いいとこ取り”
『ペチュニア』×『カリブラコア』
ビューティカル®
BeautiCal



美しく、お手入れ簡単
暮らしをあでやかに彩ります

改訂版 花の文化立国日本
お花の歳時記

永田晶彦

こちらの男性は
後程高飛車な態度を
とったことを
反省します

こちらの女性は
この後才女として
語り継がれます

とよあけは花文化をつなぐ一個として
日本の花き園芸文化を守り続けています

改訂版『花の文化立国日本お花の歳時記』
アマゾンにて好評販売中

文学・芸術とともに世界最高峰まで発展した
「日本の花文化」を伝統的な花ごとに
解りやすくユーモラスに記した一冊

花の文化立国 検索

toyoake@fengming.jp 愛知豊明花き流通協同組合

HYPONEX®

日本の園芸を、未来につなぐ。



元肥
草花・球根・野菜・
プランターに!
プランター
4個分
200g

MAGAMP
マグアンプeco
中粒
200g

チッソ リンサン カリ マグネシウム
循環型資源の再生リンサンを使用 **5-35-5-16**

マグアンプeco 中粒 200g

草花・野菜・観葉植物・多肉植物に!
植えつけ・植えかえ時に土に混ぜこむだけ

株式会社 **ハイポネックス ジャパン** | <https://www.hyponex.co.jp>